

# 上昇気流

受験に向けて一番大事な準備は  
体調を万全に整えておくことです。  
また、今一番大事な時だけに、風邪等  
の予防もしっかりしてください。

## 人生初の入学試験に 万全の準備で臨もう！

昼休みになった途端に、ダッシュで体育館に遊びに行く3年生が心配で心配で、先週の金曜日には急遽集会を開き厳しいことも言いましたが、いよいよ私立高校の入試が2日後に迫りました。万全な準備をしておく、余裕が持て、心を落ち着けることができます。以下のアドバイス、読んでおいてください。

### 1. 前日・当日のアドバイス

- ①各高校の入試要項や土田先生が作って配付して下さったプリントをよく読んでおく。
- ②当日の「一日の行程」を理解し、誰かについて行くのではなく、自分で動けるようようにシミュレーションをしておく。
- ③一番大事な前日にしておくことは「持ち物の準備を整えておくことと、体調を万全にしておくこと」です。前日は軽く勉強したら、よく食べ、風呂でよく温まり、10時には寝ましょう。早く寝た分、当日は早起きをして余裕をもつことが大事です。
- ④当日は「待ち時間」が長いと思っていてください。待ち時間に最終チェックができる参考書か何かは持って行きましょう。持っているだけで心が落ち着くものです。
- ⑤学力試験は、自分の力の100%を出そうと思ったり、それ以上をねらったりしていると、焦りにつながってしまいます。「できる問題を確実に正解に結びつければそれで良い」という気持ちで、できた問題の見直しをしっかりとしましょう。

## 2. 入試に向けて「生活指導上」の注意事項

### ① 校内に入ればすでに

#### 「面接試験」は始まっている

校内どころか、送迎バスの中の様子も見られています。ましてや、試験会場の休み時間は、生徒たちの素な状態が観察できる時なので、厳しいチェックが入っていると思ってください。

以前、面接試験の待合室で、柵の上に寝転がっていたことをチェックされていた生徒がいました。また、高校から駅に向かう帰り道の信号待ちの際に、他校の生徒と口論になった生徒も見られていました。

### ② カバン・靴・制服の着方

カバンは本校は自由ですので、日頃の使っているカバンで気になる生徒はいませんから大丈夫です。ただ、アクセサリや派手なキーホルダーをたくさんつけている人は、目印の一つだけにしておいてください。

靴についても普段はいている靴でよいのですが、蛍光色の靴は、少し気になります。

制服も第一ボタンを留めて、名札はつけない。あとは普段通りで大丈夫です。以前、短いスカートが流行っていた頃、試験会場に短いスカートにしている生徒を見つけ、「自分も」とウエストのところを折って、その日だけ短くしてしまった生徒がいて、高校の先生にチェックされていました。高校の先生は各中学校の校則で判断されるので、試験会場に短いスカートの生徒がいても真似をしたらダメなのです。

上靴は汚れていたり、かかとを踏んでいる跡がついてたりする場合は体育館シューズを代用してください。

### ③ 他校の生徒との交流は最小限に

部活動や塾等のつながりで、他の中学校に仲の良い友達がいる生徒も少なくないと思います。しかし、入試の日には、交流を「あいさつ程度」に控えておいてください。遊びに行っているではありませんので、そこはよろしく願います。

また、「他校の生徒を見てのヒソヒソ話」は要注意です。過去に、すごく短いスカートをはいた生徒の集団を見て、ヒソヒソ話をしていると、その生徒たちにトイレに呼び出され、大変恐ろしい目にあったという生徒がいました。気をつけてください。

### ④ 試験監督の先生の指示に従う

試験会場に入れば、高校の先生の指示が絶対です。休み時間であっても勝手に中学校の先生に相談や指示を受けに行ったりしてはいけません。試験会場で困ったことが起きた場合も、高校の先生に相談してください。

### ⑤ 感染防止対策を！

感染症法上の扱いが5類になっているとはいえ、今、コロナやインフルエンザに感染するわけにはいきません。

入試の一日は、密になる場面がたくさんあります。マスクは着用しておく方がいいです。

ただし、面接試験の際はマスクを外して「自分の表情も見てもらおう」とする方が良いと思います。

## 「終わってから」「合格してから」の 姿勢が大事です

「生徒会執行部選挙」の際の、3年生の姿勢を見ていると、「絶対大丈夫だ」と思っているのですが、以前、赴任した年に、こんな3年生がいました。

2年生が一生懸命演説しているのに、ぺちゃくちゃしゃべっている。投票は無効票

だらけ。

自分に関係がなくなった途端にそんな態度をとる3年生がいて、私の学年ではなかったのですが、帰りかけている3年生を放送で集めて、思い切り叱ったことがありました。

私立高校や公立高校の推薦入試が終わると、合格して、自分の進路が決定する人がたくさん出てきます。

「自分の受験が終わった時」「自分に直接関係のない後輩の代になった時」どんな態度をとるかで、その人の人間性が問われます。

自分が合格した途端に、遊びまくったり、遅刻をしたり、いい加減な授業態度になることは、決してあってはなりません。

一緒に頑張ってきた仲間の全員の進路が決定するまで、一緒に頑張ってもらっています。

前号で「志望校の合格は最終目的ではないはず！」と書きました。

先に受かった人は、高校生活に余裕が持てるように、これからも努力し続け、一般入試を受ける仲間と共に頑張ってもらっています。

## 西山先生に褒めてもらいました

伊来先生が研修に出られる日にお世話になっていた西山憲明先生の出勤日が、先日最後を迎えました。これまで、他校でも教えて来られた西山先生が、皆さんのことを称して、「規律正しく、本当に真面目にきちんと取り組むことができる素晴らしい生徒さんたちでした」と褒めてくださいました。「規律正しく真面目」は皆さんに自然に身につけているところです。これは、受験の際の強みに必ずなると思っています。

(文責:足立 進)